

世界の港湾ニュース（2007.5.31）

〈 第 25 回 IAPH 総会(世界港湾会議) 特集 〉

第 25 回世界港湾会議が 4 月 27 日—5 月 4 日、1977 年の第 10 回総会以来 30 年ぶりに米国、テキサス州・ヒューストン市で開催されました。ヒルトン・アメリカス・ヒューストン・ホテルを会場として、世界 50 カ国から 800 名を越える参加者があり、Kornegay IAPH 会長をはじめとする大勢のスタッフからテキサス流の暖かい歓迎を受けました。開会式は 4 月 30 日に、ヒューストンの政財界を代表する VIP を招いて開催されました。地中海海運会社（MSC 社、米国）会長の Nicola Arena 氏は、祝辞の中で国際貿易において港湾と船社に求められる先見性・洞察力について言及しました。

作業部会は以下の通り 6 つあり、幅広いテーマで発表・議論がなされました。

- 第 1 作業部会 Globalization of World Economy and Its Impact on Ports
世界経済のグローバル化と港湾への影響
- 第 2 作業部会 Port Security and Risk Management
港湾セキュリティと防災危機管理
- 第 3 作業部会 Challenges to Port Environment
港湾環境への挑戦
- 第 4 作業部会 Ports Adapting to Future Business Development Opportunities
将来の開発機会に対応する港湾
- 第 5 作業部会 Logistics infrastructure and Port Strategies
ロジスティクス・インフラと港湾の戦略
- 第 6 作業部会 New Technological Innovations for Port Operations
港湾運営のための技術革新

それぞれのプレゼンテーションについては、下記を参照下さい。

<http://www.iaph2007.com/programs/presentations.html>

懇親交流プログラムでは、毎晩にわたり様々なイベントが開催され、参加者を大いに楽しませました。

最後に閉会にあたり Kornegay 会長は、“IAPH と会員は、今後も共通の認識を持って港湾の発展に取り組んでいく”ことを力説しました。

ヒューストン総会の詳細については IAPH ホームページと“Ports & Harbors”誌 7 月号でまもなくご覧になれます。

* 決議・大気清浄化プログラムの促進

第 25 回世界港湾会議において IAPH は、地球環境保護のため、大気清浄化プログラムを促進して行くことを満場一致で決議しました。 会員、非会員を問わず、個々の港湾に対して、地球全体の大気清浄化に繋がるような対策・手段を採るよう強く呼びかけて行きます。「すべての問題を一気に解決するような魔法の杖はないが、IAPH の得たノウハウや経験を共有できるよう国連機関や他の国際機関と協同でフォーラムを開催して行く」と決議文は謳っています。

* 論文コンテスト・IT 賞の発表

4 月 30 日の全体会議で、IAPH 論文コンテスト及び IAPH IT 賞の受賞者が以下の通り発表されました。

(論文コンテスト)

第 1 位 (秋山賞) 該当者なし

奨励賞 Mr. Indranil Hazra (インド、コルカタ港湾公社)

奨励賞 Mr. Sandhy Wijaya (インドネシア、インドネシア第一港湾公社)

(オープン論文コンテスト) : ヒューストン・オープン・コンテスト

第 1 位 Mr. Hadi Karimi (イラン、カヴェー海事・港湾サービス社)

奨励賞 Mr. Theo Notteboom (ベルギー、ITMMA アントワープ大学)

(2007 年 IAPH IT 賞) : IT の利用で港湾・海事の振興に高い成果をあげた機関に与えられる賞)

金賞 Kelang Multi Terminal Sdn. Bhd. (マレーシア)

銀賞 Israel Port Development and Assets Co., Ltd. (イスラエル)

銅賞 Nigerian Ports Authority (ナイジェリア)

* 2007—2008 年の新体制

会長 Ms. O.C. Phang (マレーシア、クラン港)

第一副会長 Mr. Gichiri Ndua (ケニア、ケニア港湾庁)

第二副会長 Mr. Bernard S. Groseclose, Jr.(米国、サウスカロライナ州港湾局)

第三副会長 Mr. Mr. Lim Heng Tay (シンガポール、シンガポール海事港湾庁)

直前会長 Mr. H. Thomas Kornegay (米国、ヒューストン港)

総会副会長 Dr. Maurizio Bussolo (イタリア、ジェノバ港)

事務局長 Dr. 井上 聡史 (本部事務局)

* 常任理事 新体制 ※は交代による新理事

(アフリカ・ヨーロッパ地域)

※Mr. Manfred Reuter (ドイツ、ハンブルグ港)

※Mr. Khomotso Phihlela (南アフリカ)

Mr. Jean-Claude Terrier (フランス、ダンケルク港)

Mr. Leonids Loginovs (ラトビア、リガ港)

Mr. Bara Sady (セネガル、ダカール港)

Mr. Eddy Bruyninckx (ベルギー、アントワープ港)

(アメリカ地域)

※Mr. Angel Gonzalez Rul Alvidrez (メキシコ、メキシコ港湾会社)

Dr. Geraldine Knatz, Ph.D. (米国、ロングビーチ港)

Mr. Dominic J. Taddeo (カナダ、モントリオール港)

Mr. Douglas J. Marchand (米国、ジョージア港)

(アジア・オセアニア地域)

※Dr. Masahiko Furuichi (日本、国土交通省港湾局)

Capt. Abdul Wahab Al Diwani (アラブ首長国連合、アブダビ港)

Mr. Long-Wen Lee (中国、台中港)

Mr. Manjit Singh (シンガポール、シンガポール港湾庁)

Mr. Lu Haihu (中国、上海港)

Mr. Geoff Vazey (ニュージーランド、オークランド港)

Mr. Greg Martin (オーストラリア、シドニー港)

Mr. Kang Beom Gou (韓国、海事魚業省)